

# 地域でこんな場所が人が活動が!!

## 活動報告その1

### ちよこっと先生

三保地区  
社会福祉協議会

#### 「地域住民と子どもたちとの触れあい 地区社協での取り組み」

三保地区社会福祉協議会は、「三保地区子どもフェスティバル」に参加し、高齢者や地域の人、子どもたちと昔遊び(お手玉・けん玉・あやとり等々)を通して、世代を超えたふれあいができるコーナーを作り、多くの地域住民と子どもたちの交流を行いました。

また、これを見た三保小学校校長の依頼で、同校一年生の生活科授業で、地域の方々が先生となり、昔遊びを通して世代間の交流を持つことができました。

このような取り組みの中で、「ちよこっと先生」の事業が始まりました。これは、まず何か得意なこと(昔遊びや手品、わらじづくり等々)を持つ方が、「ちよこっと先生」として、三保地区社協に登録します。「ちよこっと先生」を利用したい団体・学校は三保地区社協に連絡します。三保地区社協が「橋渡し役」となり「ちよこっと先生」を派遣するという事業です。

現在「ちよこっと先生」を募集中です!

自分の住む町で、子どもたちと触れあい、これからの担う子どもたちにご自分の「技」を伝授してみませんか。



▲三保小学校一年生生活科でのひとこまです

## 活動報告その2

### 中学生ボランティアとの交流会

中途障がい者  
リハビリ教室  
「なすびの花の会」

#### 「障がい者と子どもたちとの触れあい 地域ボランティア団体での取り組み」

「なすびの花の会」は、東本郷地区で、なかなか外に出られない中途障がい者が月に1回程度集まり、地域のボランティアと共に体操などで身体を動かしてリハビリをする会です。

夏休みには、東鴨居中学校から20名程度の生徒を募集し、参加者全員で、カレーを作り食べて交流するイベントを行っています。このイベントは平成3年から始まり、今年は16回目を迎えました。

当日のカレー作りは、タマネギ・じゃがいも等を切る作業があり、みなさん涙目でしたが、それでもクラブ活動のことなど話しながら作業していて、とても楽しそうでした。食後は、中学生のリコーダーと歌、「なすびの花の会」の手話コーラスとそれぞれが演奏を披露し、音楽での交流を楽しんでいました。

子どもたちが自分の住む地域で、障がいのある方やそれを支える多くの方がいることを学ぶのはとても意味のあることではないでしょうか。

また、「この交流会に参加した生徒で大学生になった方がいるのですが、いまでも道で会うと挨拶してくれます。そういうつながりが嬉しいです。」と、ボランティアの方が笑顔で話されていて、地域の方が子どもたちの成長を暖かく見守っている様子が感じられました。



▲カレー作りの風景です



▲中学生のリコーダー演奏の後、「なすびの花の会」のメンバーがハーモニカの演奏を披露していました

## 活動報告その3

### いきいき笑顔の広場

昭和大学  
保健医療学部  
ボランティア部

#### 「大学生による高齢者ミニデイサービス」

この事業は、昭和大学保健医療学部ボランティア部のメンバーが十日市場ケアプラザに、「ここを使って何かしたい」と相談したことから始まり、平成17年5月よりスタートしました。概ね毎月1回土曜日に開催され、地域の高齢者を毎回募集する形で行われています。口コミで広がっていき、今では20人程度の方が参加しています。

体操やゲーム、お茶の時間と充実したプログラムをボランティア部のメンバーが全て企画していきます。



▲ボランティアもチームに入って、一緒に輪投げを楽しんでいます。

部員みなさんに、実施するにあたっての「心意気」を聞いてみました。「身体を動かすことと、頭を使っていたらいいものをメニューに入れたい。」「ボランティアとして、高齢者を楽しませたいという気持ちではなく、自分たちも一緒に楽しみながら参加したい。」

学生たちの心からの笑顔が、参加した高齢者の笑顔につながっている、そんなさわやかで一味違う雰囲気を感じました。

**平成18年度  
緑区社協事業**

「みどりのわ・ささえ愛プラン」基本理念・5基本目標・15小目標に基づいた各種事業を、区民・行政と協働、連携して展開してまいります。

- 基本目標**
- ①地域でのつながりを大切にする まちづくり(つながり)
  - ②「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり(人材・担い手)
  - ③みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり(機会・場)
  - ④必要な情報が入手しやすいまちづくり(情報)
  - ⑤「安心・安全・健康」のまちづくり(安心・安全・健康)

### プランにのっとり、当会従来事業の拡充と新規展開

#### ★18年度重点項目★

- ①地区社協単位でのボランティア相談窓口開設
- ②夏休み体験学習施設体験から地域活動体験へ移行
- ③子育て連続講座出張版による地域展開

**子育て [202万円]**

- ◆みどり子育てネットワーク
- ◆新聞の発行
- ◆保育付連続講座、フェスタ開催
- ◆横浜子育てサポートシステム

**障がい児者関係 [133万円]**

- ◆余暇支援活動
- ◆青年学級
- ◆ミドリピック
- ◆コミュニケーションボード
- ◆フェスタみどりのわ など

**あんしんセンター [39万円]**

- ◆定期訪問・金銭管理
- ◆福祉サービス利用援助
- ◆財産関係書類預かり

**各種助成**

- ◆共同募金配分 [791万円]
- ◆年末たすけあい配分 [1004万円]
- ◆善意銀行預託配分 [298万円]

**福祉教育 [24万円]**

- ◆夏休み体験学習輝け自分!ボランティアの開催
- ◆福祉教育相談
- ◆先生のための福祉講座
- ◆福祉機器の貸出

**送迎 [865万円]**

- ◆区内在学の知的障がい児の通学余暇支援(知的障がい児送迎サービス事業)
- ◆高齢・障がい・難病患者で外出困難な方(市外出支援・区社協送迎サービス事業)

**その他 [565万円]**

基金、貸付、管理運営事業 など

**ボランティア [182万円]**

- ◆相談・登録
- ◆保険加入手続
- ◆情報提供
- ◆講座・研修事業開催

**活動拠点の運営 [1,530万円]**

- ◆研修室、録音室、作業室の貸出

**地区社協支援 [126万円]**

地区連合町内会と共に区内11地区でまちづくりに取り組む「地区社協」の課題解決の支援

- ◆研修会
- ◆事業費助成
- ◆支援事業メニュー

**広報・福祉啓発 [182万円]**

- ◆広報「社協だよりみどり」発行
- ◆社会福祉大会
- ◆ホームページhttp://www.midori-shakyo.jp

### 賛助会員って?

社会福祉協議会の目的、事業推進に対して広くご理解を頂き、「賛助会費」を納めていただくことにより、財政的支援をしていただける会員のことです。

#### ありがとうございます。

平成18年7月4日～8月23日までに入会いただいた賛助会員です。

### 企業名

株式会社大和田商店 / 株式会社 鴨居商業ビル / 関東電気株式会社 / 医療法人社団 恵生会 竹山病院 / 株式会社佐道 / 医療法人社団有仁会 島津メディカルクリニック / 新都市建設株式会社 / 株式会社シンメイ / 泰平建設株式会社 / 東北化成工業株式会社 / 社団法人日本厚生団 長津田厚生総合病院 / 有限会社中村屋 / ナトリ電設株式会社 / 日本高周波株式会社 / 浜田工業株式会社 / 有限会社ふか草 / 株式会社堀建 / 丸美産業株式会社 / 株式会社ミドリ電設 / 山田工業株式会社 / 有限会社ゆたか / 株式会社よろづシボリ製作所 / 菱友物産株式会社 / 株式会社ワタナベサッシ販売 / 横浜ゆうふくの郷株式会社 / 日本舗材株式会社 (順不同)

### 平成18年度 共同募金配分金事業助成団体

#### 各団体の配分額

- 400,000円 ▶ 緑区民生委員児童委員協議会
- 290,000円 ▶ 緑区老人クラブ連合会
- 90,000円 ▶ 東本郷・鴨居・竹山・白山・新治中部・山下・三保・新治西部・十日市場団地・霧が丘・長津田地区社会福祉協議会
- 50,000円 ▶ 緑区子ども会連絡協議会 / ボランティアばら / 中山食事会 / 竹山寿会 / 日鋼御食事会 / 霧が丘会食会 / 鴨居ボランティア / いぶきの会 / れんげの会 / 新治中部地区リハ教室ぬくもり / 霧が丘ひまわり教室 / 東本郷地区リハビリ教室なすびの花の会 / 矢車草の会 / 緑区友愛活動推進員連絡協議会 / 緑区戦没者遺族会 / みどり手話の会 / 手話サークル やよい
- 48,000円 ▶ 杉山原老人昼食会
- 40,000円 ▶ 東本郷ボランティア / ボランティアグループ「たいこんの花」
- 38,000円 ▶ 朗読・録音グループみどり
- 30,000円 ▶ 三菱さくら食事会 / グループ・おとこの出番 / 手話サークル「昴」
- 29,000円 ▶ 輪踊りの会
- 24,000円 ▶ 隣友会
- 20,000円 ▶ ボランティアみほ / 白山かえで会
- 19,000円 ▶ 喜隣会

合計 ▶ 2,898,000円

◆18年度経常活動収支予算額 / 5941万円 ◆17年度経常活動収支決算額 / 4349万円